

# 個人投資家様向け会社説明会

株式会社 トクヤマ (証券コード: 4043)

経営企画室 広報・IRグループ主席 \*\*\* 和帝

林 和彦

2018年9月7日



## **CONTENTS** 一説明内容一

- 1. 株価及び出来高推移
- 2. 概要
- 3. 暮らしの中のトクヤマ
- 4. 主な製品
- 5. 沿革
- 6. 競争力の源泉~徳山製造所
- 7. 業績推移
- 8. 事業ポートフォリオ
- 9. 目指す姿
- 10. 成長事業の取り組み
- 11. 配当について

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。







### 2. 概要

創立

1918年2月16日(旧社名:徳山曹達)

所在地

東京本部

東京都千代田区外神田1-7-5 フロントプレイス秋葉原

徳山製造所(本店所在地)

山口県周南市御影町1-1

代表者

ひろし よこた 横田浩

資本金

100億円

(2018年3月末現在)

従業員数

4,889名

(2018年3月末現在、連結ベース)

連結売上高

4043 (化学)

証券コード

(2012年9月より日経平均銘柄)

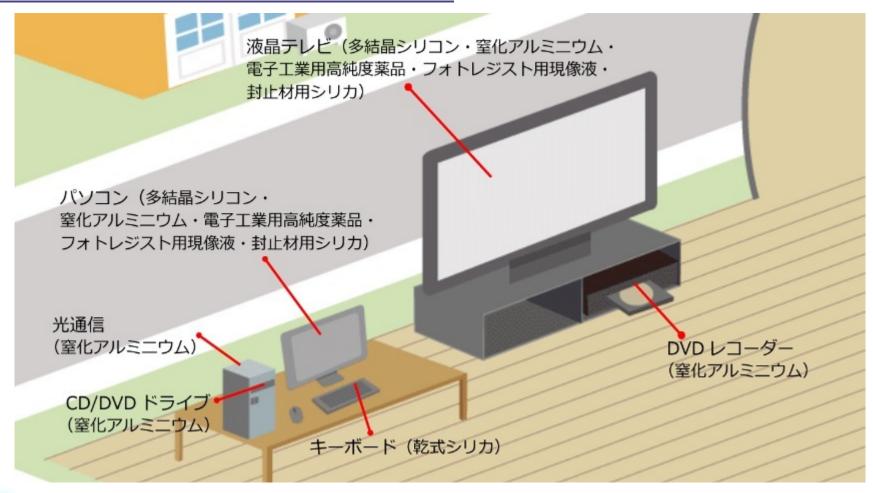
株式売買単位

100株

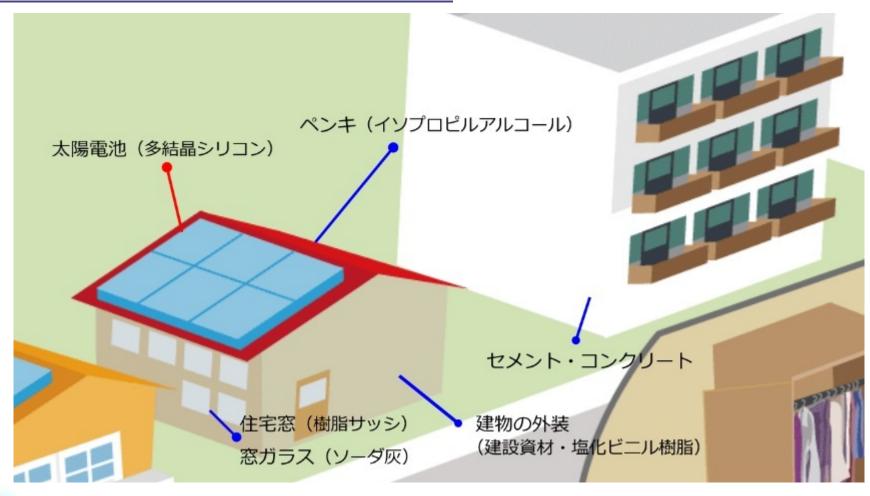








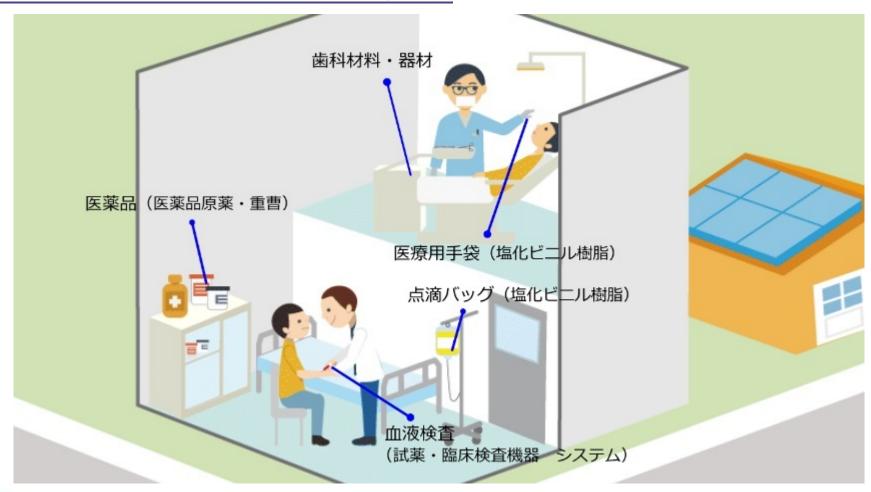














### 4. 主な製品

■ サン・トックス㈱「サントックス-0P」
(コンビニエンスストアのサンドイッチ・おにぎり等の包装など)





微多孔質フィルム「ポーラム®」 (紙おむつ用バックシートなど)



㈱エクセルシャノン「シャノンウインドUFシリーズ」 (樹脂サッシ)



### 5. 沿革



岩井商店(現双日)が設立した代表的な会社(最勝会) 日新製鋼、ダイセル、富士フイルム、トクヤマ、 関西ペイント、日本橋梁、トーア紡、日本発条

#### 2018年2月16日 創立100周年



創立者 岩井勝次郎

事



スペシャリティー・加工型事業 (多結晶シリコン他)

石油化学 (塩化ビニル樹脂他)

ソーダ専業(ソーダ灰)

無機総合化学 (セメント、苛性ソーダ他)

社 名				ツーダ <b>徳 山 曹 達</b>						トクヤマ				
年	1918	1920	1930	1936	1940	1950	1960	1970	1980	1990	1994	2000	2010	2018



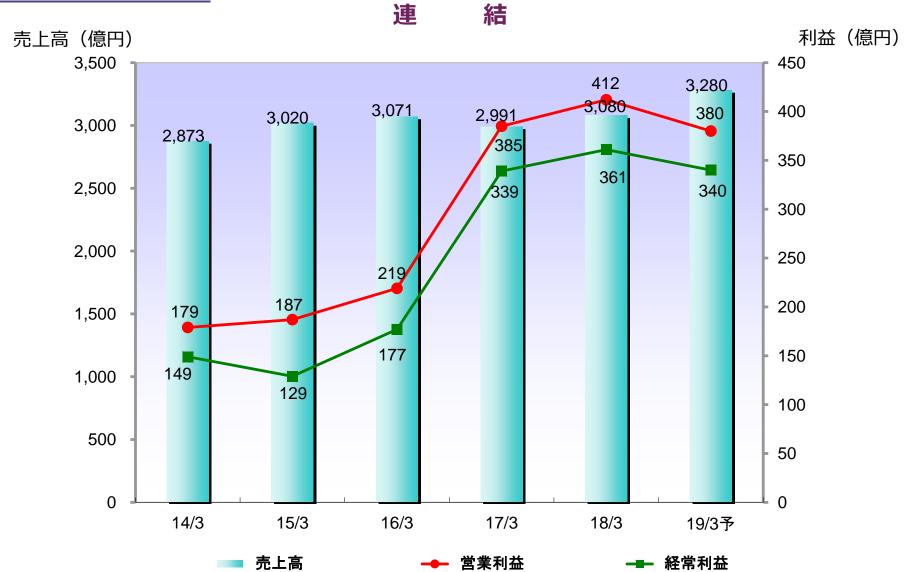
#### 6. 競争力の源泉~徳山製造所

無機・有機化学、セメント、電子材料などの工場が複合的に集積し、原料・製品・ 副産物・廃棄物を相互に有効活用できるインテグレーションを形成



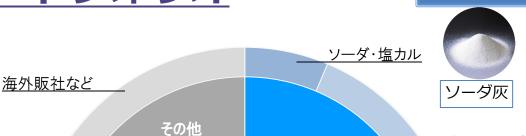


### 7. 業績推移





### 8. 事業ポートフォリオ



樹脂サッシ 15.8% イオン交換膜

セメント

国内4位

歯科器材

医療診断システム

ポリオレフィンフィルム

NF(微多孔質フィルム) ファインケミカル

資源環境

世界No.2



メガネレンズ用 フォトクロミック材料

ライフ 2018年3月期 アメニティー 連結売上高 14.9%

セメント

25.3%

3,080億円

特殊品

16.9%

化成品

**27.1**%

乾式シリカ

放熱材料(窒化アルミニウム)

電子材料(多結晶シリコン)

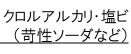
ICケミカル・洗浄システム

アジアNo.1

電子工業用高純度IPA 乾式シリカ



国内3位



国内製造only1



苛性ソーダ

NOC

(ニューオーガニックケミカルズ)

世界シェア30%





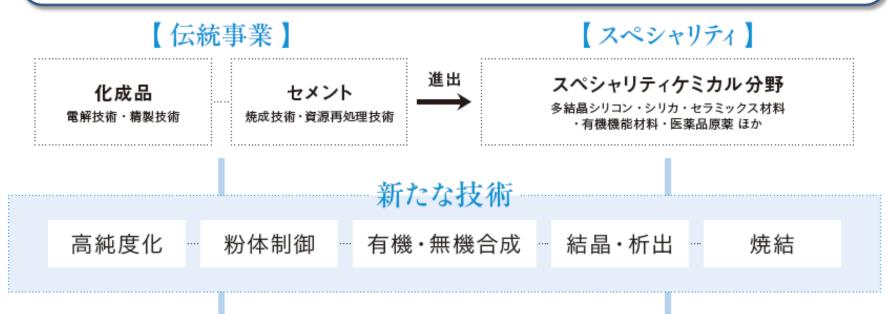


窒化アルミ粉末



#### 9. 目指す姿

#### 目指す姿:「量から質へ」 2025年度 【伝統事業】日本トップ 【先端材料】世界トップ

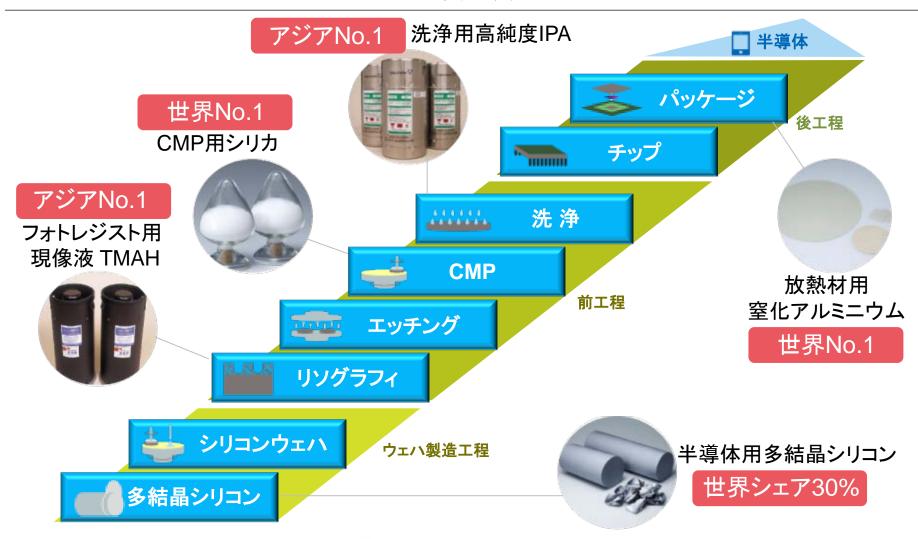


化成品・セメントは 競争力で日本トップになる 特有技術で 先端材料の世界トップになる



### 10. 成長事業の取り組み

#### ICT関連製品

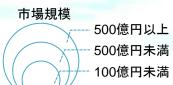




### 10. 成長事業の取り組み

取り組み

#### ICT関連製品



#### 半導体向け 多結晶シリコン

■ フル生産維持



#### フォトレジスト用 現像液 TMAH

- 能力増強
- フル生産維持



#### 洗浄用高純度IPA

- 台湾第2工場建設による供給体制の強化
- 工業用IPAとのバランス調整による販売 数量増



#### 乾式シリカ

- CMP用途製品の販売数量増、価格是正
- 電子産業関連(トナー、液晶パネル部材など)のシリカ製品の拡充



#### 放熱材

- 能力増強
- 製品ラインナップ拡充





### 11. 配当について

剰余金の配当は、3月末日及び9月末日の最終の株主名簿に記載された株主の方を対象に 実施しています。

今期(19年3月期)の配当につきましては、中期経営計画に沿った利益計画の見込みであることから、中間配当・期末配当について前期より増額する予定です。

	2013	2014	2015	2016	2017	2018
中間配当金 (円)	3.0	0.0	0.0	0.0	2.0	(25.0)
期末配当金 (円)	3.0	0.0	0.0	0.0	20.0	(25.0)
配当性向(%)	20.4	_	_	_	11.5	(12.9)

(注1) 2014~2016年度の配当性向は、当期純損失であるため記載しておりません。

(注2) ()内の数値は、予想値です。

(注3) 2017年10月1日付で普通株式5株を1株に併合いたしました。







#### 業績予想(2019年3月期)

連結

※2018年4月27日公表

売上高

3,280億円

前期比 +6%

営業利益

380億円

前期比 △8%

親会社株主に帰属する当期純利益

270 億円

前期比 +37%

売上高営業利益率

11.6 %

1株当たり当期純利益 (EPS)

388.15 円

(注) 2017年10月1日付で普通株式5株を1株 に併合いたしました。



### 海外主要拠点

(2017年6月1日現在)

